

(別紙5)

整理番号 2023P-100
補助事業名 2023年度 地域に根差したこどもの自然・文化・遊び体験活動補助事業
補助事業者名 公益社団法人 発明協会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

地域における青少年の知的創造体験活動の普及、啓発を図るため、地域に根ざして活動する少年少女発明クラブ活動の支援及び創造性を競う全国大会をし、もって公益の増進に寄与する。

(2) 実施内容

① 少年少女発明クラブ活動強化事業 <http://kids.jiii.or.jp/>

ア 少年少女発明クラブ活動の支援

地域を拠点として活動を行う少年少女発明クラブでの知的創造体験活動を支援した。本年度、新たに3クラブ(山形県尾花沢市、愛知県知多市、鹿児島県南さつま市)が開設され全国で211クラブとなった。年間を通したクラブ員数は約10,300名で、延べ約6,850回の講座に参加し創作活動に励んだ。



(パタパタ板返しの作成：大口発明クラブ)



(LEDテープライトの作成：川崎さいわい発明クラブ)



(からくり機構の作成：高浜市発明クラブ)



(バネ電話の作成：蒲郡発明クラブ)

(別紙5)



(ホバークラフトの作成：松本発明クラブ)



(プログラム制御ロボットの作成：
黒部発明クラブ)



(3Dプリンタによるアイデア作品の作成：
南さつま発明クラブ)



(マイコンプログラミングの練習：
湖西発明クラブ)

イ 少年少女発明クラブ指導員全国会議の実施

- ・全国会議：11月24日 愛知県名古屋市にて開催した。



(会場風景)



(広瀬茂男氏による講演)



(福野泰介氏による講演)



(依田康宏氏による講演)

ウ 一般向け公開教室及び作品展示会の実施

- ・59のクラブが全国各地にて科学技術週間や夏季休暇期間等に公開教室や作品展示会を実施した。教室参加者は約3,800人であった。
- ・発明協会主催イベントである「全国少年少女チャレンジ創造コンテスト全国大会」及び「全日本学生児童発明くふう展」においても公開教室を開催し、知的創造体験活動の普及を図った。



(バルーンエアカーの作成：
東海市発明クラブ)



(スライムの作成：十和田市発明クラブ)



(ピコピコキャタピラーの作成：
碧南市発明クラブ)



(ホバークラフトの作成と試乗会：
半田市発明クラブ)

(別紙5)



(燃料電池カーの作成：阿久比町発明クラブ)



(空気機関車の作成：半田市発明クラブ)

② 知的創造活動普及・奨励事業

<http://kids.jiii.or.jp>

各地域の少年少女年発明クラブや学校等の協力の下、2~3名1チームで統一課題に挑戦する「全国少年少女チャレンジ創造コンテスト」の地区大会及び全国大会を4年ぶりに実施した。

また、全国大会は会場を愛知県に移し、新ルールの下、開催した。

ア 地区大会の実施

6月から9月の期間に全国48地区において地区大会が開催された。総勢343チームの青少年が「からくり機構を使った作品のパフォーマンスで観客を楽しませよう」をテーマにした作品を製作し競技に臨んだ。



(説明会：豊田発明クラブ)



(指導会：東海市発明クラブ)



(指導会：碧南市発明クラブ)



(指導会：姫路発明クラブ)

(別紙5)



(地区大会：東海市発明クラブ)



(地区大会：八戸市発明クラブ)

イ 全国大会の実施

各地区の優秀チームの中から全国大会出場チームとして60チームを選考し、全国大会を11月25日にAichi Sky Expo(愛知県国際展示場)展示ホールEにて開催した。会場には約1,100名来場し、予選・決勝を通じて熱気に溢れた大会となった。



(会場入口)



(入場行進)



(選手宣誓)



(競技会場全景)

(別紙5)



(走行競技)



(作品紹介プレゼンテーション)



(表様式：賞状授与)



(表彰式：記念撮影)



(表彰式における大村愛知県知事による挨拶)



(全員による記念撮影)

2 予想される事業実施効果

① 少年少女発明クラブ活動強化事業

ア 少年少女発明クラブ事業

少年少女発明クラブ活動では、学年の枠を超えて子ども達が自ら問題発見・発明考案し、手を動かして作品を完成することを目標とし、知識を製作に活かす生きた創造体験が行え、また完成時の成功体験・達成感を経験でき学校では得られない創造する喜びを体験することができる。こうした自ら考え創作する活動の全国規模で

(別紙5)

の実施は他に見られない。また、クラブ員以外の子ども達が参加する公開教室等も実施しており、広く青少年の創造性能力の開発育成に努めている。

このような創造性豊かな人材の育成を通じて近い将来における産業の担い手を育成することは、知的財産立国の実現に向けた基盤整備に大きく寄与し、今後、我が国産業の振興に資するものと期待できる。

② 知的創造活動普及・奨励事業

ア 全国少年少女チャレンジ創造コンテスト事業

全国少年少女チャレンジ創造コンテスト事業では、全国規模の競技・アイデアコンテストを行うことにより、全国の子どものものづくり・チャレンジ精神の高揚を図り、また、地区代表として選抜され全国大会へ出場することは、子どもだけでなく地域社会の目標ともなり、地域が一体となった青少年の創造性育成活動が普及・進展することが期待できる。

3 補助事業に係わる成果物

(1) 補助事業により作成したもの

① 少年少女発明クラブ活動強化事業

ア 少年少女発明クラブニュース No. 310～315 20,000部

② 知的創造活動普及・奨励事業

ア 第11回全国少年少女チャレンジ創造コンテスト募集要項 10,000部

(2) (1) 以外で当事業において作成したもの

ア 発明キッズホームページ <http://kids.jiii.or.jp/>

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 公益社団法人 発明協会(ハツメイキョウカイ)

住所： 105-0001

東京都港区虎ノ門2-9-1 虎ノ門ヒルズ江戸見坂テラス8階

代表者名： 会長 内山田 竹志(ウチヤマダ タケシ)

担当部署： 総務グループ(ソウムグループ)

担当者名： 主査 中野 雄生(ナカノ ユウキ)

電話番号： 03-3502-5421

F A X： 03-3504-1480

E-mail： y-nakano@jiii.or.jp

U R L： <https://koueki.jiii.or.jp/>